

2025年8月27日

上越市長

中川 幹太 様

上越市議会議員

本城 文夫

山本 佳洋

橋爪 法一

上野 公悦

平良木哲也

## 日米豪共同訓練に関する緊急申入れ

日頃、市政発展のためにご尽力いただいていることに敬意を表します。

さて、陸上自衛隊は今年9月16日から9月24日にかけて、関山演習場を主体として、米陸軍及び豪陸軍との実動訓練(訓練名「オリエント・シールド25」)を実施すると発表しました。

しかし、発表は「関山演習場においては、陸自、米陸軍及び豪陸軍の普通科(歩兵)部隊が共同戦闘訓練、各種小火器や迫撃砲による共同実弾射撃訓練及びヘリによる人員及び物資輸送(吊り下げ)並びに野戦病院を開設して共同衛生訓練を実施する予定」とする概要のみであり、参加人数や詳しい訓練内容、演習場周辺での市民との接触状況などは不明です。

今回の日米豪共同訓練の目的と内容は、「国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する」とした日本国憲法第9条に反し、政府の「専守防衛」の立場ともまったく相容れないものです。そして、大規模な日米豪共同訓練実施は、北東アジアの緊張をますます高め、安全保障環境をいっそう悪化させるだけです。市民の命と平和をまもるために、決して看過できません。今必要なことは「敵基地への先制攻撃」を想定するなどの軍事訓練ではなく、異常な物価高騰などの生活危機の下で、いかに国民生活の安定を取り戻すかであることを考えるまでもなく、危険な訓練は中止を求めることが必要です。

つきましては、市民の安全と安心、生命及び財産を守る義務を負う基礎自治体として、緊急に次のことを行うよう申入れます。

### 記

- 1 妙高市とも連携し、日米豪共同訓練を中止するよう防衛省など関係機関に働きかけること。
- 2 住民の安全・安心を保障するため、訓練内容を公表すること。また、関係機関に詳細の公表を求めること。
- 3 ヘリによる訓練では、搭載物や部品の落下等が懸念されることから、少なくとも、飛行ルートは住宅街の上空をさげ、市民生活に影響を及ぼす時間帯は飛行しないよう求めること。
- 4 訓練に参加する隊員には、演習場外への外出や宿泊等を行わないよう求めること。